

2025 年 3 月 4 日

大東建託株式会社

第 6 回 ESG ファイナンス・アワード・ジャパンで、カーボンニュートラル賞を受賞

LCCM 賃貸集合住宅普及への取り組みが評価

大東建託株式会社は、環境省が主催する第 6 回 ESG ファイナンス・アワード・ジャパン(以下、本アワード)の環境サステナブル企業部門で、2 月 19 日、テーマ別賞であるカーボンニュートラル賞を受賞しました。

カーボンニュートラル賞は、ネイチャーポジティブ、サーキュラーエコノミーと並んで環境省が重視する 3 大テーマの一つ、カーボンニュートラルについて、特に優れた取り組みを行っている企業をテーマ別賞として表彰するものです。今回当社は、LCCM 賃貸集合住宅を始めとした低炭素型集合住宅の研究開発や販売促進に積極的に取り組み、ビジネスモデルとして主流化している点が評価されました。

当社は今後も、LCCM や ZEH 賃貸住宅の普及に取り組むことで、建物の資産価値・社会的価値向上と、企業活動を通じた脱炭素社会の実現に貢献していきます。

以上



2/19 日表彰式の様子 (左:ESG ファイナンス・アワード・ジャパン選定委員長 北川哲雄氏、右:大東建託(株)取締役 上席執行役員 建築事業本部長 技術担当 舘正文)

■ ESG ファイナンス・アワード・ジャパンの概要

ESG ファイナンスアワードは、ESG 金融または環境・社会事業に積極的な取り組みを表彰し、広く社会で共有することにより、ESG 金融の普及・拡大につなげることを目的としています。本アワードの表彰部門は投資家部門、間接金融部門、資金調達部門、金融サービス部門、環境サステナブル企業部門の 5 部門に分かれています。環境サステナブル部門では、環境関連の重要な機会とリスクについて戦略的に取り組み、企業価値向上につなげている企業を表彰しています。



■ LCCM 住宅とは

LCCM 住宅は建設時、運用時、廃棄時において省 CO2 に取り組み、さらに太陽光発電設備などを利用した再生可能エネルギーの創出により、住宅建設時の CO2 排出量も含めライフサイクル全体を通じて CO2 の収支をマイナスにする脱炭素住宅です。

当社は 2021 年に国内初となる LCCM 賃貸住宅を完成させ、2022 年 10 月から LCCM 規格化商品「ニューライズ LCCM」の販売を開始しました。LCCM 認定基準を満たすため、既存の ZEH 賃貸住宅をベースに断熱性能を強化するほか、省エネ効果の高い住宅設備を導入、発電効率の高い太陽光システムを導入するなど複合的な取り組みを進めています。現在までの契約数は 153 棟(1,043 戸)、完成数 107 棟(715 戸)になります。



【お問い合わせ先】 大東建託株式会社 広報部 広報課 〒108-8211 東京都港区港南 2-16-1

TEL | 03-6718-9174 / E-mail | koho@kentak.co.jp / WEB サイト | <https://www.kentak.co.jp/>